

# 平成19年度 病虫害発生予察注意報 第1号

平成19年5月31日  
発表：福島県病虫害防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病虫害：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：中通り北部
- 4 発生量：多い

## 予報の根拠

- (1) 昨年秋期の中通り北部における新梢葉での発病は、過去9か年の平均と比べ多かったことから(図1)、本年の越冬菌密度は例年より高いと推定される。
- (2) 5月下旬の春型枝病斑(スプリングキャンカー)は主に伊達地方で認められ、発生量は過去6か年の平均と比べ多く(図2)、激発しているほ場も認められた。
- (3) 春型枝病斑(スプリングキャンカー)の発生が認められなかったほ場でも、新梢葉での発病が認められている。
- (4) 5月25日発表の1か月予報によると、期間前半は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みである。

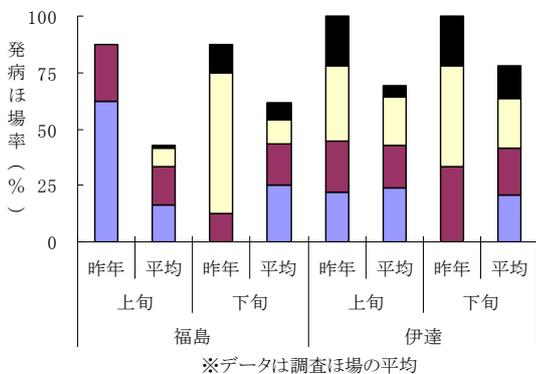


図1 新梢葉での発生状況(平成18年9月)

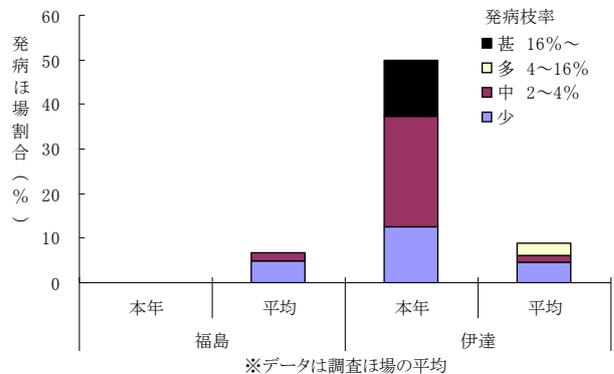


図2 春型枝病斑の発生状況(平成19年5月下旬)

## 防除対策

### (1) 耕種的防除

薬剤散布だけでは十分な防除効果を上げることが難しいので、伝染源となる春型枝病斑は見つけしだいせん除し、適切に処分する。

### (2) 薬剤防除

6月上旬までに、下表からいずれかの薬剤を選択し散布する。なお、アグレプト水和剤は収穫前日数が長いので、早生種での使用では十分に注意する。

表 モモせん孔細菌病の主な防除薬剤

薬剤名	農薬の成分名	濃度	使用期間 (収穫前日数)	本剤の 使用回数
亜鉛ボルドー液	硫酸亜鉛	6-6式	30	3
アグレプト水和剤	ストレプトマイシン	<u>1,000倍</u>	60	2
マイコシールド	オキシテトラサイクリン	<u>2,000倍</u>	21	5

※薬剤を選択する際、選択した薬剤の使用回数と含有する有効成分の総使用回数(他剤を含む)に十分注意する。

※薬剤を選択する際、収穫前日数に十分注意する。

※濃度のアンダーラインは、平成19年版福島県農作物病虫害防除指針で採用している濃度を示し

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部 発生予察グループ(病虫害防除所)までご連絡ください。  
Tel 024-958-1709 Fax:024-958-1727
- 本情報は、福島県病虫害防除所ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html> でもご覧いただけます。